

15. 乳癌症例での ^{99m}Tc -rhenium colloid リンパ節シンチグラフィ

中里 龍彦 吉岡 邦浩 児島 陽一
 高橋 恒男 柳沢 融 (岩手医大・放)
 石田茂登男 森 昌造 (同・一外)

病理学的に確認された乳癌患者に ^{99m}Tc -rhenium colloid lymphoscintigraphy を行い腫瘍からのリンパ流動態と、健常乳房各領域のリンパ流動態を検討した。対象は 6 例、平均 49.8 歳、stage I あるいは II で腫瘍周囲 2 か所に ^{99m}Tc -ReC 4 mCi, 0.4 mI 皮下注し 1 時間後、3 時間後、6 時間後に低エネルギー用コリメータにてスキャンを行った。Control 群は 2 例で CA 領域に注入し同様のスキャンを行ったが旁胸骨、Halsted リンパ節は描出され難い傾向を認めた。症例では 3 例に腋窩リンパ節の描出を認めず同部の転移が病理学的に確認された。また多数のリンパ節描出を認めた例、腋窩、鎖骨下、旁胸骨リンパ節の強い集積認めた例も同リンパ節の転移が確認された。

16. 肺癌腎転移にみられた ^{99m}Tc -MDP の腎集積

菊池 章 松本 容 (仙台市立病院・放)
 杉山 正春 (同・内)
 佐藤 郁郎 (東北大・二病理)

48 歳、男性。59.8. 本院内科初診時、左 B 8~10 の完全閉塞と中等量胸水を認め、細胞診で扁平上皮癌と判明した。化療により多少の改善をえて 59.10. 内科を退院したが、59.12. 右腰部痛出現し、60.2.6. 放射線科を初診した。左下葉無気肺のほかに肺内転移、骨転移を X-P で証明、2.22. の骨シンチで骨転移巣のほかに両側腎にも多少不均等ながら高度の ^{99m}Tc -MDP の集積 (Hot kidney) を認めた。BUN, Cr., 血清 P, K は正常範囲、尿酸 7.9 mg, Ca 11.9 mg と軽度上昇。全身不良で化療はせず、対症的に骨転移 2 か所、左肺原発巣、左鎖上節に照射施行したが、腎機能悪化、肺転移増大で 60.6.3. 死亡した。剖検の結果、右腎は内側で約半分が腎転移で占められるも腎盂腎極は圧排のみ、左腎は中央部を横断して約 2/3 が転移で置換し、上下の腎盂に軽度の拡張を認めた。腎の軟 X 線撮影と病理組織学的所見で、腎および肺転移の壊死部に石灰沈着が証明され、これが骨シンチでの Hot kidney の主因と考えられた。